

ほつねつ ケイジン

安心と安全に もっと24時間の愛情を



社会医療法人 恵仁会

特集 コロナに負けるな！工夫で楽しむ夏祭り



There is no time like the present.

「SDGs『エスティージーズ』」
2019年9月に達成目標で定められたもので、持続可能な世界を実現するための国際目標。日本政府もこの目標を掲げています。社会や経済、地球環境についての、17の目標と169のターゲットから構成されています。地域課題上の第一歩として取り組んでいます。

さなだクリニックにおけるSDGsの取り組み
さなだクリニックは、日々の業務で「くま縦断」、「くま横断」、「くま縦横断」を行っています。特にくま縦断は、毎日くまを手で抱き抱いていたところが、おもむろにくまをうつしてしまったときに何が起こるか想定しておられます。それぞれ自分自身で体験的にこなしています。

さなだクリニックの SDGs 「本のリユース」

さなだクリニックでは、SDGsへの具体的活動のひとつとして、通所リハビリと外来での本のリユース棚を設置し、読み終えた本のシェア活動を行っています。待ち時間や空き時間に気軽に本を読めることで、体感的な待ち時間ストレスを軽減する効果もあり、書籍のシェア物を無駄にしないひとつの具体的方法です。本のシェア活動を通して、地域とクリニックのコミュニケーションも広がりますね！

スタッフ紹介リレー



お名前：鷹野 正広 さん

部 署：本部経営企画課／ケアホーム運営室

職 種：事務職

趣味・特技：登山・ランニング・水泳

vol.257号掲載の
荒井さんとは

運動好き

つながり♪



編集後記

いつの間にかお盆も過ぎ、朝晩は涼しく過ごせる日も増えて参りました。今年はお盆前後の全国的な長雨や、昨年から続くコロナ禍での夏となり、外で何かを楽しむ機会もなく、家に居る時間の多い夏となりました。社会に出て働く大人たちも大変ですが、高校生や子どもたちなど、本来であれば色々な機会を活用して経験したり学ぶ時期であり、また、一度しかない学生時代をコロナ禍で終えなくてはならない世代へ何かできることはないかと考え、行動できたらと思います。

《メガ・S》

～安心と安全に もっと24時間の愛情を～



社会医療法人 恵仁会

〒385-0051 長野県佐久市中込 1-17-8

TEL:0267-64-1700 (法人本部) FAX:0267-64-1719

編集：社会医療法人恵仁会 広報委員会 発行：社会医療法人恵仁会 理事長 黒澤一也

SNS各種開設しています
【社会医療法人恵仁会】

佐久 恵仁会

QRコード(ホームページ)
バックナンバーは当法人ホームページでもご覧いただけます。

【コロナに負けるな！ 工夫で楽しむ夏祭り～感染対策との両立、季節行事の大切さ～】

介護施設のイベント

楽しいだけじゃなく、行事レクリエーションの目的

行事レクリエーションの目的

介護施設における行事レクリエーションの目的は、当然「お祭りを楽しんでもらいたい」そんな思いはもちろんですが、次のような介護事業所ならではの意味も込められています。

周囲とのコミュニケーションを活性化する

お祭りは日本人の「生きるための願い」

四季を持つ日本では、春夏秋冬それぞれの祭りが生まれてきました。古来、夏は都市部に疫病が流行する季節とされ、祭りで疫病退散・厄除けを願いました。地方では稻を食い荒らす害虫を追い払い、台風除けを祈願する祭りが多くなります。そして収穫を終えた農閑期の冬には、田畠の神をねぎらい、新しい年を迎えるための「新春祝い」に備えます。このように季節によって違うお祭りですが、どの祭りにも日本人の「生きるための願い」がこめられています。その願いは時代を経ても変わることなく、だからこそお祭りは代々守り継がれてきたのです。

「お祭り」の言葉の語源は「祀る（まつる）」こと。

コロナ禍でみんなで集まるお祭りは各所で中止となっていますが、今だからこそお祭りの本来の意味を思い出し、趣向を変えて楽しむ方法を考えていくのも良いのでしょうか？



季節を感じ、QOLの向上につなげる

行事レクリエーションは普段話さない方とも会話ををするきっかけになります。会話を楽しむことは脳を刺激し、認知症予防にも効果的です。

季節を感じ、QOLの向上につなげる

季節を感じる行事レクリエーションは、節目ごとに日々を感慨深く振り返ることに役立ちます。ただ漫然と日々を過ごすのではなく、「春が来たなあ」「すっかり秋だなあ」など、季節を感じながら過ごす。こうしたことが、高齢者のQOL（クオリティ・オブ・ライフ＝人生の質）を高めることに貢献します。

感動することで脳を刺激する

外出しないことなどが続くと、何かを見て感動することも少なくなりがちです。美しい景色や、普段目にしないものを見ることは、とても良い脳への刺激にもなります。

思い出語り合いで、心が安定する

季節の行事には、誰にでも子供の頃や若い頃の思い出があるものです。自然に昔の思い出を回想してもらうことができます。

工作やゲーム等によるリハビリ効果

行事レクリエーションにともない工作物を作ったり、ゲームをしたりすることによるリハビリ効果など、物理的な役割もあります。行う作業によって、視覚や触覚の刺激、手指の運動、巧緻性（こうちせい）・手先の器用さや巧みに指先を使う能力のこと）の向上、集中力のアップ、思考力のアップ、達成感を得るなどの目的を持たせることができます。

今回は、こんな思いや目的に支えられ、感染対策を盛り込みつつ、趣向を変えてどうにか夏祭り企画を開催できないかと、恵仁会の介護事業所各所で行われた夏祭り企画の一部をご紹介します。



機能訓練センター望月の夏祭り

望月では、日々行われているレクリエーションの時間を特別版にして夏祭りを行いました。

望月在宅は一つ屋根の下、機能訓練センター望月とピアサポートセンターもちづきの利用者さんの行き来が日常的にあるため、ある程度の人数調整や換気等行いつつですが、一緒に楽しむことができました。

以前は外に色々用意し、自由に交流するスタイルでしたが、今回のような形でも、マスク越しでも、利用者さんとスタッフと一緒に笑い合っていることは伝わってきます。笑顔って、マスク越しでも目元でわかりますね！

シルバーポートつかばら夏祭り

シルバーポートつかばらでは、通所フロアと入所フロアで完全に分離し、それぞれのフロアでほぼ同じ催し物を同時展開するという、スタッフの元気とパワー溢れるシルバーポートつかばらならではのスタイルで開催されました。

外部の方と一緒に楽しむスタイルは感染対策にて実施できませんでしたが、スタッフの元気とパワーで物足りなさは少しも感じさせないお祭りとなっていました。

相手に楽しんでもらうには、まず自分たちが楽しそうに見えなければ盛り上がりませんね！

一緒に楽しもうという雰囲気が伝わってきます。

サテライト老健なかごみ夏祭り

サテライト老健なかごみでは2階の多目的フロアを使い、入所されている利用者さんと一緒に屋台のおやつや夏祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。

バックミュージックに祭りばやしの音楽をかけたり、スタッフのギター演奏つきの歌謡曲や、太鼓・小太鼓の試し打ちなど、音楽や楽器が上手に使われていて、「夏祭りのぎやかさ」を感じることができました。また、スタッフが浴衣や甚兵衛に着替えて迎えるなど、目と耳両方で夏祭りの雰囲気を感じてもらおうという、ひと手間を惜しまない工夫が素敵ですね。

